

猿払村教育委員会からのお知らせ

村の子どもたちのメディア（スマホ・タブレットなど）利用時間の長さが深刻な状況です。小中学生だけでなく、未就学児童の保護者も含めてお子様のメディア利用の状況をしっかりと把握し、見直してみませんか。

猿払村立小・中学校保護者の皆様へ

2月の村内一斉のスマホ・タブレットについてのアンケートを実施しました。その結果猶予が許されない状況であることが判明しました。小学生で約半数が、中学生で大多数がスマホ・タブレットを持っています。使い道はほとんどが動画視聴やゲームです。中学生になるとこれにSNSやLINEが入ってきます。問題なのは使用時間。特に中学生は、平日でも5時間を超える子が半数程度いるのです。これでは、十分な勉強が出来るはずもありません。それどころか、日常生活も危ういのでは…。見過ごすことは出来ない状況です。今一度親子で確認し合うことが必要です。

大丈夫ですか…？
子どものスマホ
危機意識 が必要です

猿払村PTA連合会・猿払村教育委員会・猿払村校長会・猿払村教頭会

子ども…自分を守る・人を傷つけない（自律）
大人…子どもを守る・不安を軽減する（共同）

子どもがスマホ（情報端末）を使用する上で、節度ある使い方やトラブル回避、相手を傷つけないことなどを学びながら自律の力を高める。また、大人は子どもを守るために、自律の力を身につけさせるためにやるべきことを大人同士の共同で取り組む。

子ども自身の学習

親子で合意したルール

機能制限（フィルタリングなど）
使用状況確認（用途・時間・履歴）

率直に相談できる

親子関係 + 大人のつながり

裏面に2月に実施した小中学生のメディア利用状況のアンケート結果を掲載しています。
ご家庭で今すぐメディア利用の見直し、ルール作りを！

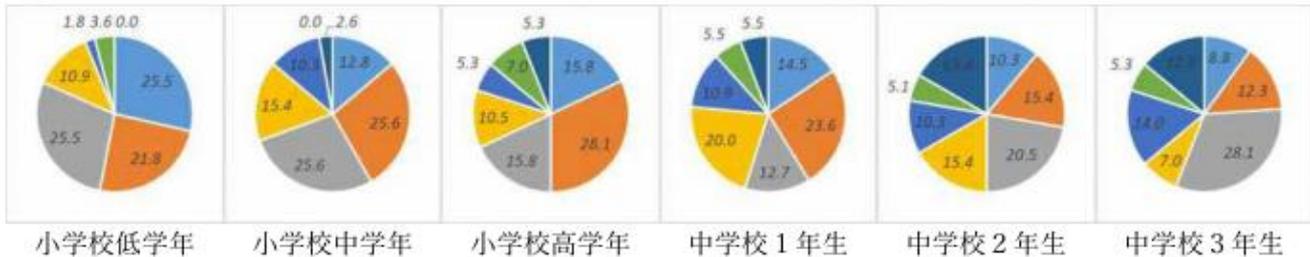
《スマホ・タブレットの所持率》

※グラフの数値は%



■自分専用、■家族と共有、■なし 小学生でもおよそ半数が、中学生は大多数が自分専用のものを持っています。現在のメディアは機能上の区別がなくなっていることを考えると、保護者はゲーム機を買い与えるような感覚なのかもしれません。ただし、動機や理由はどうであれ、与えてからが重要であり、親子間での取り決めが必要であることは明らかです。フィルタリングはもちろん、状況に応じた制限は必要です。

《スマホ・タブレットの使用時間（平日）》

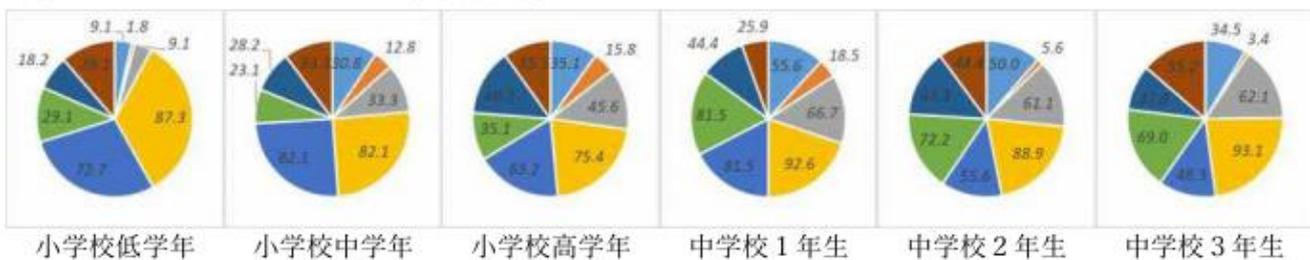


《スマホ・タブレットの使用時間（休日）》



■30分未満、■30分~1時間、■1~2時間、■2~3時間、■3~4時間、■4~5時間、■5時間以上 平日の小中学生の使用時間で1時間未満が4割程度なのが気になる。中学生は学年を問わず使用時間の多さは問題です。半数以上が3時間を超え、休日はさらに増えています。これでは勉強する時間は減るし、睡眠不足など、不健康な生活にもつながることに。もし、メディアに時間を奪われている状態であれば早急に手を打たないと後悔する羽目になりかねません。今すぐ子どもの生活の見直しを！

《スマホ・タブレットの主な使用目的》



■通話、■メール、■LINE、■動画、■ゲーム、■SNS、■ネット、■学習 小学生は動画とゲーム、中学生はそれにLINEやSNSが入っています。また、学習での利用が、特に中2~3で目立ちます。今の世の中の楽しさや流行がスマホから発生することが多いことを考えると、子ども達の嗜好は理解できる。大人と同じ？ どう使うかを考えた上で使用し、折を見て使用の仕方を見直すことはとても大切。どの時代になっても、ツールに合わせるのではなく、自分にツールを合わせることで自分を見失わずに生きていくことにつながります。そのカギは“自律”。メディアの使用を通して自律の心を育てていくという発想が必要です。